

平成24年1月27日

高崎市長 富岡 賢治 様

高崎市吉井地域審議会
会長 森 賢六

答 申 書

平成23年12月27日付け第265-6号で諮問された、高崎市第5次総合計画基本構想に係る地域のまちづくりについて、審議を行ったので、下記のとおり答申いたします。

記

1 答申内容

(1) 地域の特性

- ① 「牛伏山・カタクリ・ホタル・きゅうり・しいたけ・上信電鉄」など吉井地域を象徴するものを内容に盛り込み、吉井地域らしさを表現していただきたいと考えます。
- ② 多胡碑のみでなく歴史・特色ある「吉井藩」の記載を望みます。

(2) 地域の将来像

- ① 高崎市景観計画との整合性を取りつつ、吉井地域の具体的イメージを表現していただきたいと考えます。
- ② 人とのかかわりの深い里山を「文化としての自然」として盛り込んでいただきたいと考えます。

(3) 将来像のイメージ

以前から吉井地域の特長ある農業については、将来的な方向性・コンセプトを追加表現していただきたいと考えます。

(4) 施策の展開

概ね原案のとおりで差し支えありません

2 審議の経過

(1) 会議の開催日と内容

- ア 平成24年1月13日 各委員の意見聴取
- イ 同年 同月 23日 答申書(案)の作成
- ウ 同年 同月 25日 各委員の意見調整
- エ 同年 同月 27日 答申書の提出

(2) 委員から出された意見

- ア 基本構想案にあるとおり抽象的な表現でよいのではないか。
- イ 全体的にモノ主体の政策になっている。モノ以外の文化活動に触れた言葉を具体的に書いていただきたい。
- ウ うまく継ぎはぎした優等生的作文で実感に乏しい。イメージが沸くような具体的な言葉が欲しい。
- エ 高崎市景観計画のように、鑄川を中心に4つの地域に分けたらどうか。
- オ 高崎インターチェンジ・吉井インターチェンジの活用をもっと強調して、今後の施策に入れて欲しい。
- カ 吉井仲通り線の一体的整備にともなう新町公園計画や吉井保健センター周辺道路など、周辺施設整備の推進を望みます。
- キ 中心市街地においては、商店街の衰退により、高齢者の買物難民化が進行している。先進事例を参考とし、中心街区の再活性化を図っていただきたい。
- ク 「伝統芸能」は、各地区に残る獅子舞・神楽・八木節だけでなく、お祭りや習俗(習慣)等も後世へ守り伝えていく大切なものです。伝統・習俗を大切に伝えていくことが、みんなで支え合う心や地域愛となり市民意識の向上、さらには愛国心につながるのではないかと考えます。伝統・習俗の大切さを、どのように伝え守っていくかということを文章に表現していただきたい。
- ケ 1. 地域の特性は、地域特性に関する現状認識の表現にとどめておくべきではないか。

(3) その他

別添「意見取りまとめ表」参照